

令和3年8月吉日

見守りボランティアの皆様

雀宮東小学校地域協議会長 五月女 茂司
宇都宮市立雀宮東小学校長 高久 由紀子

1・2年生の下校時における見守り活動について

晩夏の候、見守りボランティアの皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校児童の安全のためにご尽力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、国及び栃木県から、8月20日（金）から9月12日（日）の期間で緊急事態宣言が発令されました。

このことを受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面の間、「見守りボランティア」による下校時の組織的な見守り活動は行わないことといたします。見守り活動の再開時期については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め慎重に判断し、改めて通知させていただきます。

御理解とご協力をお願いいたします。

記

1 下校体制

- ・ 1，2年生は、同じ方面でまとまって下校できるよう、昇降口で解散します。
- ・ 3年生以上は、各クラスで帰りの会終了後下校します。

2 その他

保護者の皆様には、下校時に、可能な範囲で家の近くの通学路まで出ていただき見守りを行うなど、引き続き協力をお願いしてまいります。

宇都宮市立雀宮東小学校
担 当 副校長 佐藤 裕
電 話 653-0059

「子どもは地域の宝物」地域みんなで子どもを守ろう！

宇都宮市では、平成24年度から全市で始まる「小中一貫教育・地域学校園」を契機に、小学校の下校時における見守り体制の充実を図ることとしました。

つきましては、保護者・地域の皆様におかれましても、下記のことについて御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

◎本市の基本的な考え方

- 地域社会全体で見守り活動が行える体制にする。(同行から立哨・巡回へ)
- 児童自らが危険を予測し、回避する能力を育てる。
- 児童が放課後にさまざまな活動を行える時間を確保する。

◎各学校の取組

- 児童自らが危険を予測し、回避する能力を育てる。
 - ・すべての小学校で「地域安全マップ」を作成・活用したり、「防犯教室」や「防犯避難訓練」を実施するなど、児童の危険予測・回避能力の育成に努めます。
- 児童が放課後にさまざまな活動を行える時間を確保する。
 - ・教職員は定期的な立哨や巡回を行います。また、児童は放課後に児童会などの活動の時間をもつことができます。

◎本市の取組

- 地域社会全体で見守り活動が行える体制にする。
 - ・地域防犯ネットワークと連携して下校時の見守りを強化します。
 - ・地域内にある会社や商店などに見守り活動の協力を依頼します。
 - ・不審者情報の提供や学校の安全体制の整備を支援します。

◎保護者、地域の皆様へのお願い

保護者、地域の皆様におかれましては、下記のことについて、地域の実情に応じて、地域ぐるみのより多くの目で子どもたちを見守っていただきますよう、御協力をお願い申し上げます。

○同行から立哨・巡回へ

児童の下校時間帯（およそ15:00～16:30）に合わせて、地域の皆様が、できる範囲で見守り活動をお願いします。

(例)・買い物や散歩

- ・庭仕事、自宅周辺の清掃
- ・自宅前や近所での立哨、あいさつ